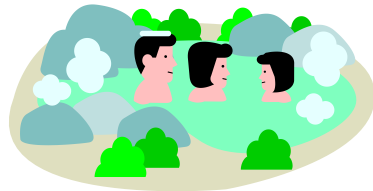


まちづくり・地域興し論

2012年 10月30日 第4講

第3部 魅力を生かした地域ツーリズム振興



第7章 温泉の活用と地域づくり

出典：佐々木一成著 観光振興と魅力あるまちづくり(学芸出版社)
観光カリスマ 地域活性化の知恵 (社)日本観光協会・編

1. 温泉を巡る状況



- 日本(火山列島)を代表する観光資源
- 温度が25度以上
- 硫黄分などの特定成分を規定以上含むもの
(温泉法第二条)

	1965	2005	増加率
宿泊私設のある温泉地数	1,331	3,162	2.3
源泉総数	11,913	27,866	2.3
日帰り温泉	1,629	7,431	1.5
宿泊利用客(万人/年)	9,331	1億3,661	1.5

温泉が増えた理由:

- 総合保養地整備法(1987年)通称『リゾート法』
- ふるさと創生事業(1988年)

1. 温泉を巡る状況



表2. 宿泊観光旅行先での行動

	行動	2003年度	2004年度	2005年度
1	温泉浴	51.6	51.5	51.0
2	自然の風景を見る	48.0	42.5	43.2
3	名所・旧跡を見る	29.3	27.5	25.0
4	特産品などの買物・飲食	25.9	26.3	24.1
5	ミュージアム見物	18.2	19.4	17.6

表3. 今後の国内旅行の主な目的

	目的	1999年調査	2003年調査
1	美しい自然・風景を見る	61.9	65.0
2	温泉での休養	60.2	60.1
3	郷土色豊かな料理等を食べる	42.9	42.5
4	博物館・美術館等を巡り鑑賞する	33.5	34.8
5	家族と一緒に遊ぶ	30.6	30.5

1. 温泉を巡る状況



- 温泉観光客数のピークであった1億4,325万人（1992）から5%減少したまま 回復していない。

	1965	2005	増加率
宿泊私設のある温泉地数	1,331	3,162	2.3
源泉総数	11,913	27,866	2.3
日帰り温泉	1,629	7,431	1.5
宿泊利用客 (万人／年)	9,331	1億3,661	1.5

「大型旅館ビジネスモデル」の陳腐化

- 団体優先

- 多くの部屋を一挙にさばくことができる
- 画一的なサービス(宴会食)は効率的



- 一泊二食料金

- 料理もお仕着せ
- 量より質
- サービス提供時間も限定的

- 囲い込み(各旅館が大型化を進め、館内に各種の浴場(うち湯)や飲食店、土産物店などを設置して宿泊先を外に出さないようにした)

- 温泉街特有の風情とされた外湯めぐり ×
- 土産品を求めてのそぞろ歩き ×



- 長野県軽井沢市 (人口1万7千人)
- 1915年創業 (星野温泉ホテル)
- 『もうひとつの日本 谷の集落に滞在する』

星のや 軽井沢 (長野)

星のや軽井沢

- 旅館経営革新の代表格
- 星野佳路社長（1991年家業を継ぐ）観光カリスマ
- 米国コーネル大学大学院のホテル経営
- 徹底した市場調査・・・(首都圏で1万人)→連泊希望→滞在型に耐える施設づくりや運営手法
- 施設のコンセプトやターゲットを明確にする。
- 12,000坪 20棟 77の客室 和洋融合の工夫
- 女性建築家 東利恵 「日本が固有の文化を大事にしたまま近代化したら・・・」

星のや軽井沢

時間の拘束の排除 (CONCEPT)



- チェックインは遅くまででも可能
- 泊食分離 料金設定は宿泊のみ (食事は自由)
- ルームサービス24時間

星のや軽井沢

「時間の拘束の排除」 (CONCEPT) 食事は好みのレストランで..



星のや軽井沢 (長野県 軽井沢市)

コストを抑え、生産性をあげる (CONCEPT)



- 一人のスタッフが接客から掃除まで何役も担う

どこでしょう？



湯布院温泉



- 持てる地域資源を生かしつつ個性や魅力を作り出していく。
- 観光客：38万人(1970)から380万人(2008)へ

ゆふいんの森号





ゆふいん号車中







日乃新

日乃新

千客

ゆふいん 一休

ソフトクリーム

PUCCAI





赤司菓子舗


P
100

34-21

花木

花水

YUUFU

A photograph of a mountain range under a cloudy sky. The mountains are covered in green vegetation. In the foreground, there is a road with a wooden railing and a series of green reflective markers. The text is overlaid in red on the image.

1959年 湯布院町が「国民保養温泉地」としての指定を受けるようにした。

ゴルフ場のグリーンの緑と自然の緑は、ちがう。私たちは緑の「質」を大切にしていた。

ゴルフ場建設反対運動が自然保護運動へ。



阿蘇くじゅう国立公園

狭霧台

(湯布院温泉展望地)

ASOKUJU NATIONAL PARK
SAGIRIDAI OVER LOOK

阿蘇くじゅう国立公園

ゆふいん

狭霧台

あま

大分県



湯布院 町

- 静けさ
- 素朴さ
- 自然の豊かさ



湯布院



太宰府天満宮

DAZAIFU TENMANGU SHRINE

光明禪寺

KOMYOZEN-JI TEMPLE

0.1KM

九州歴史資料館

KYUSHU HISTORICAL MUSEUM

0.6KM

九州国立博物館

KYUSHU NATIONAL MUSEUM

0.3KM

太宰府市

太宰府市





陶硝
木希

ゆふいん創作館

ゆふいん創作館





1987年

リゾート法施行
(開発業者の波)

1990年

うるおいのあるまちづ
くり条例

湯布院のまちづくり
の考え方にどうか従っ
てください。


そして、湯布院の秩序
ある街づくりへ一緒に
参加してください。

(例) 建物は4階まで



「ゆふいん建築・環境デザインブック〜ムラの風景をつくる」(2000)

原則2 内と外との係わり合いを大切にしていく
心得4 通りに対して堅く閉ざさない作り方とする
・人を迎え入れる入口をつくる



「ゆふいん建築・環境デザインブック～
ムラの風景をつくる」(2000)

原則3 自然な風合いを大切にしていく

心得4 湯布院固有の素材感や風合いを
大切にする

・周りの風景になじんでいく素材を使う

「ゆふいん建築・環境デザインブック
～ムラの風景をつくる」(2000)

原則2 内と外との係わり合いを
大切にしてい

心得4 奥を感じさせる空間の構成



山のホテル夢想園
露天風呂



亀の井 別荘



010-7511-1111

梦想园

北京市朝阳区三里屯



➤1970年代より一貫する
街づくりの目標

“**住民の生活**が最優先

➤地域に固有な資源を生かす“**内発的**”まちづくり

X ゴルフ場

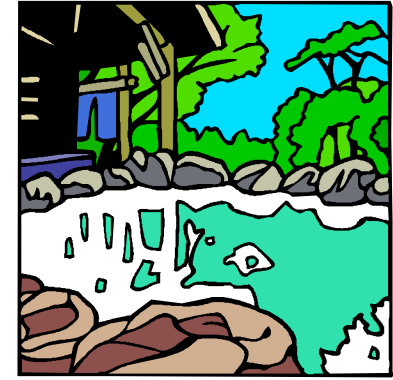
X サファリパーク

X 大型リゾート

➤祭りやイベント

(出典:安村克 観光まちづくりの力学 学
文社 2006)

討論： 今、どの温泉が最も魅力的か？



討論の内容

- ① 5つのケーススタディの中で、あるいは自分(グループの仲間)が行ったことのある温泉の中から、どの温泉に興味をもったか？
- ② その温泉の魅力的なところ・優れたところ等、特徴をあげて説明する。
- ③ この温泉を中心としたまちづくりにおけるコンセプトは何か、コンセプトとその例を説明する。

温泉地におけるまちづくりのポイント

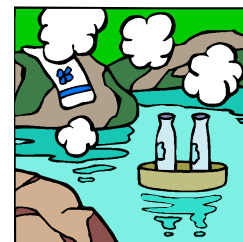


1. 旅館の経営革新

◆ 星のやリゾート

- ## 2. 地域づくりと一体となった開放型・補完型の旅館運営 (統一感のあるコンセプト) 湯治場の原風景をどのように保っていくかが課題。

◆ 俵屋温泉・湯布院



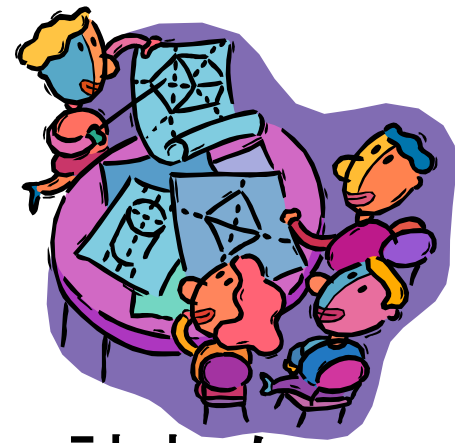
3. 品質の維持・向上

4. ヘルスツーリズム(健康・美容)への取り組み

- ◆ 別府 オンパク NPO法人
- ◆ 道後温泉のアロマセラピー
- ◆ 韓国アカスリ(蜂蜜・牛乳)

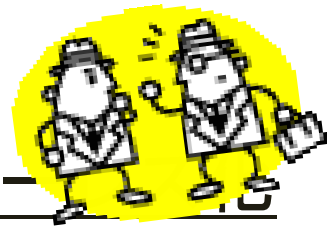


グループ課題（10月30日）



1. 教科書のケーススタディ、あるいは、訪れたことのある温泉のうちで、どの温泉に興味をもったか？
2. その温泉の魅力的なところ・優れたところ等、特徴をあげて説明する。
3. この温泉を中心としたまちづくりにおけるコンセプト（概念）は何か、コンセプトとその例を説明する。

グループ課題（先週）



国際化の進展で、国内外を問わず、ボーダーが進んでいる。このため、日本国内の観光地は、今や海外の一流観光地などと正面から競合する時代を迎えている。

教科書(第4章 必要なソフトパワーの強化)を読んで話し合ってください。

- ①競合していると思われる日本の観光地と外国の観光地。
- ②この2つの観光地がどのように競合しているか？それぞれの観光地の特徴と違いを述べて説明する。
- ③この2つのうちで、日本の観光地をもっと魅力的にするにはどうしたらよいか

本日の課題

- 第11章「環境と共生するエコツーリズム」を読んで、800字程度でまとめと感想を書いてください。
 - 課題を11月4日(日曜日 11:59pm)までにメールで提出。
 - 大学のウェブメールを使用して送る。
 - 送り先アドレスは kaorukom@eve.u-ryukyu.ac.jp
 - 本日の課題の件名は、「2012 まちづくり第11章)エコツーリズム」